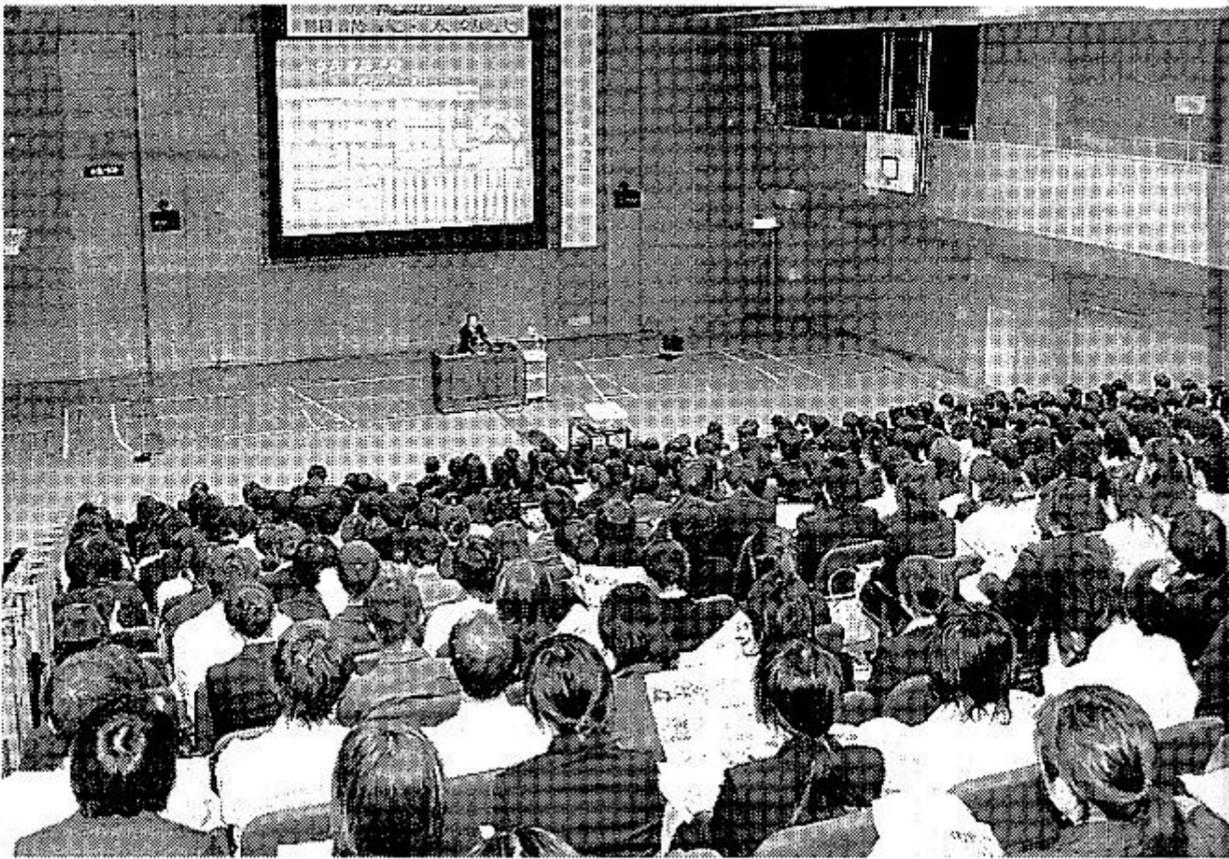


小中学校の教員を目指す大学生・社会人が入塾した「京都教師塾」の開講・入塾式(京都市下京区・市総合教育センター)



教育への情熱と意欲を持った即戦力教員の養成を目指す京都市教委の「京都教師塾」が開講し、三十日、京都市下京区の市総合教育センターで入塾式があった。小中学校

### 京都市教委

の教員を志す大学生や社会人四百人が出席し、講座内容の説明などを受けた。式で、小寺正一塾長は「大学の学習に塾での研修内容を付け加え、児童・生徒や保護者、地域に

「教師塾」が開講

## 社会人ら400人

# 目指せ教育のプロ

信頼される先生になってもらうことを期待している」と激励。塾生を代表して佛教大四年の大植雅史さん(三三)が「精いっぱい努力して教育的実践力や指導力を養います」と宣言した。

この後、来年七月七日の卒塾式までの日程説明などがあり、スーツ姿の塾生たちはメモを取りながら緊張した面持ちで聞き入った。福祉施設で働きながら小学校教員を目指している上京区の上長生さん(三三)は「少しでも現場の先生の声を聞きたいと思いい入塾した。京都の教育がどんなことを目指しているのか学びたい」と話していた。京都教師塾は、団塊世代の教員大量退職を控え、実践力を身につけた教員を確保する狙い。定員の二倍を超える応募があったことから、当初予定から百人増やして四百人を受け入れたほか、講師として学校勤務経験がある人を対象としたアドバンスコース(百二十五人)も追加設置した。

下京

# 「京都教師塾」開講

## 市教委 大学生ら400人が参加



塾生を代表して宣言する大植さん—京都市下京区で

小中学校教師を希望する大学生や社会人を対象に、京都市教委が創設した「京都教師塾」の開講式が30日、下京区の市総合教育センターであり、約400人が詰めかけた。

教師塾は教員採用試験が行われる来年7月までの約10カ月間、2週間に1回程度、土曜日に市立校長や若手教員らによる講座が開かれる。市

立小中学校で教師の補助などの教育実践を体験する研修もある。募集には予定の2倍を超える653人が応募。市教委は定員を300人から400人に拡大し、非常勤講師などの経験者用のコースと聴講制度を創設し、約150人を受け入れた。

開講式では、小寺正一塾長が「高いレベルの教師力を身に着け、自信

を持って教育の現場に進んでほしい」とあいさつ。仏教大文学部4年の大植雅史さん(21)が「仲間と助け合い、教育的実践力や指導力を養っていきます」と代表者宣言を

した。  
式に出席した京都橋大文学部3年、黄瀬尚子さん(21)は「滋賀県甲賀市」は「教育実習より前に学べるのはいいこと。現場に行ったり、いろいろな話を聞いて役立てたい」と話していた。  
【小川信】

18年10月1日  
毎日新聞朝刊